

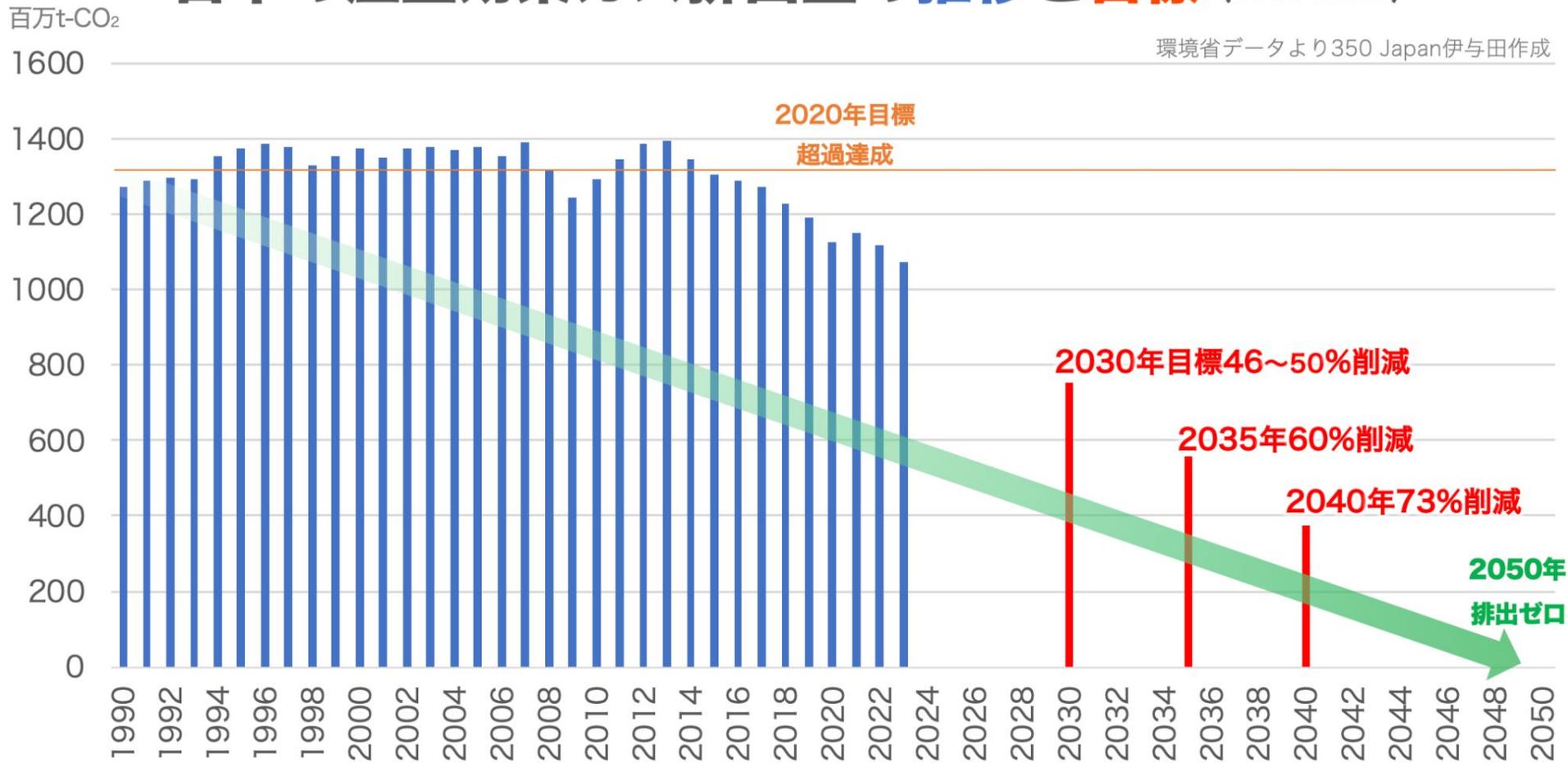
←350

COP30に向け、日本に求められること

伊与田昌慶(国際環境NGO 350.orgジャパン・キャンペーナー)
2025年7月18日(金)CAN-Japan SB62報告会

日本の温室効果ガス排出量の推移と目標 (1990-2022)

環境省データより350 Japan伊与田作成



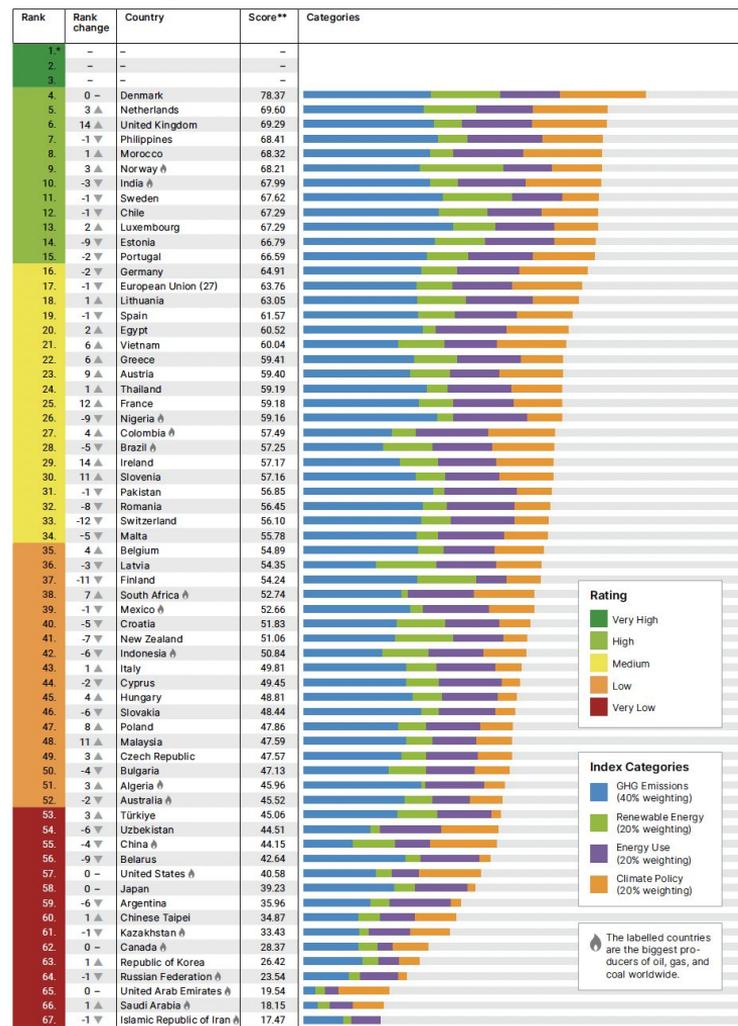
気候変動対策の国際比較： 日本は第58位で最下位グループ

- 日本は「2050年実質排出ゼロ」を宣言したが、その達成の道筋が明確でない
- 最大のCO₂排出源・石炭火力発電所をなくす方針がないのは、G7諸国でほぼ日本だけ
- パリ協定の1.5°C目標を達成するためには、化石燃料のフェーズアウト(段階的廃止)が必要

世界の総排出の約3%だとしても、世界第5位の排出大国・日本として、政治的リーダーシップが求められる

出典：<https://ccpi.org/>

Climate Change Performance Index 2025 – Rating table

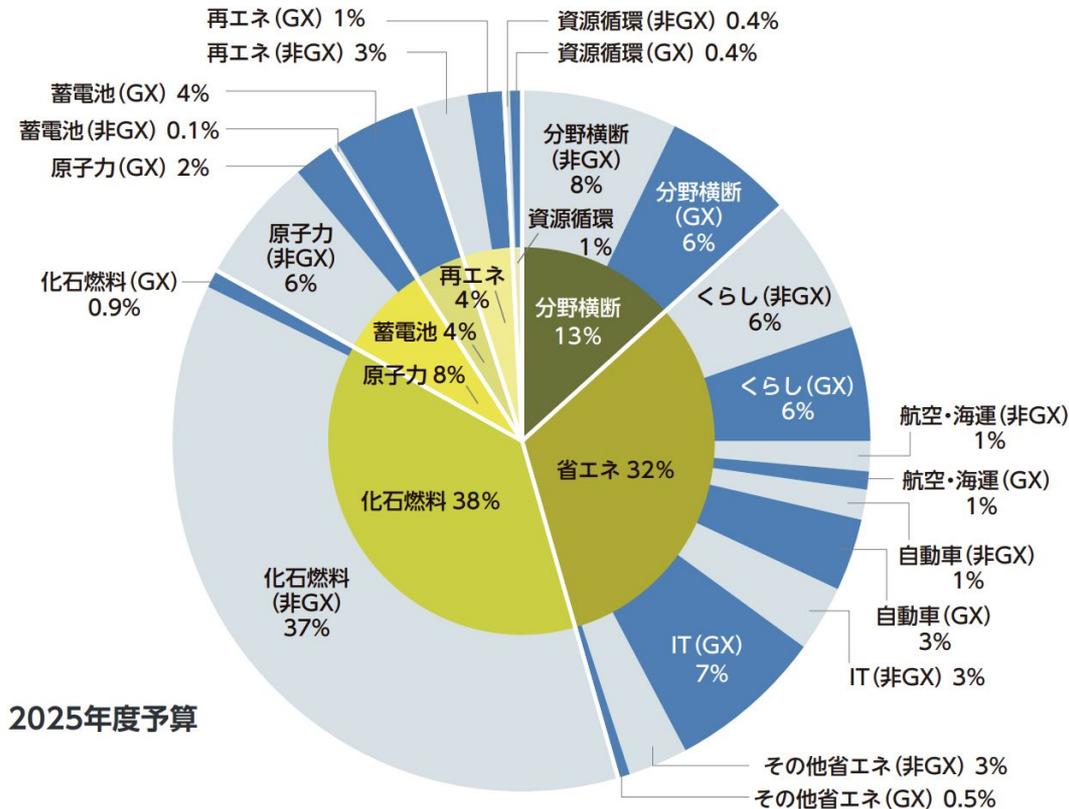


* None of the countries achieved positions one to three. No country is doing enough to prevent dangerous climate change.

** rounded

2025年度政府予算:再エネ分野は化石燃料の 10分の1、原子力の2分の1

- 分野別では、化石燃料(水素・アンモニア、CCUSを含む)が2024年度よりも増加し、38%と最も多い
- 次いで省エネの割合が32%を占める。他方、再エネ予算は全体の4%程度と非常に少ない
- 2025年度は前年度と比べて化石燃料、原子力の予算が増え、蓄電池が減っている



日本の金融機関は、パリ協定採択後、 再エネへの資金の19倍もの資金を化石燃料に提供してきた

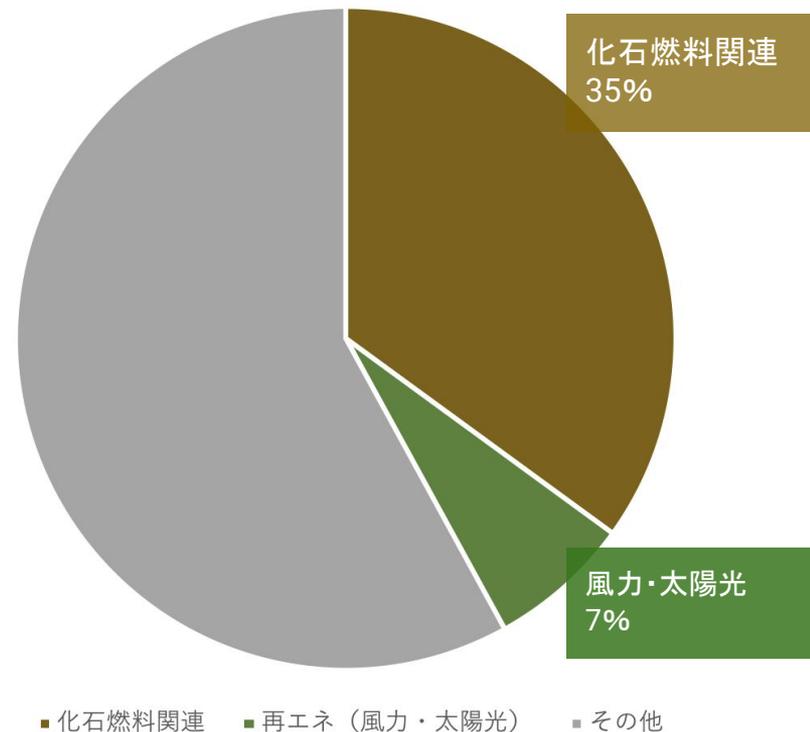
日本の金融機関による各エネルギーへの融資・引受額

(単位：100万米ドル)



海外向けも:アジア諸国向けの支援も化石燃料分野に偏重

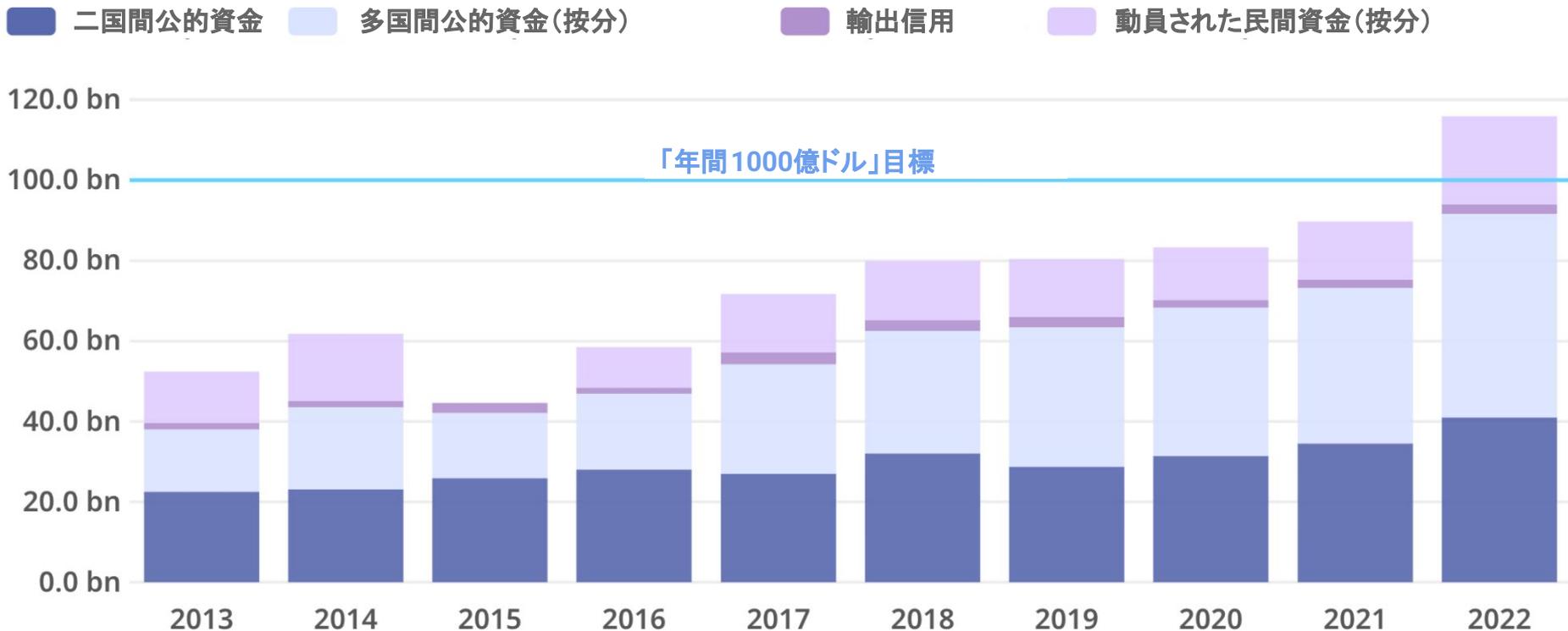
- 日本国内でのガス需要は減少しているにもかかわらず、日本は、アジア諸国と大規模なガス転売の契約を継続
- 日本政府が推進しているアジアゼロエミッション共同体(AZEC)において、2024年8月までに交わされた覚書の35%は化石燃料関連技術で、風力・太陽光を含むものは7%しかない
- アジア各地の地元住民グループからは化石燃料の固定化、環境汚染、債務負担に懸念と抗議の声があがる



参考: 先進国から途上国に対して提供された気候資金規模

(単位: 10億米ドル)

出典: OECD (2024年5月29日) <https://www.oecd.org/en/topics/sub-issues/climate-finance-and-the-usd-100-billion-goal.html> (グラフ中の日本語仮訳: 伊与田)



The gap in the private finance series in 2015 is due to the implementation of enhanced measurement methodologies. As a result, private flows for 2016-22 cannot be directly compared with private flows for 2013-14.

Source: OECD (2024), [Climate Finance Provided and Mobilised by Developed Countries in 2013-2022](#).

COP30に向けたポイント:

1. 気候資金への貢献

- a. ベレンへの交渉において前向きな姿勢をとること
- b. 損失と被害基金への貢献、再エネ3倍 & 省エネ2倍のための途上国支援、2025年以降に向けた気候資金を日本として積み増す必要がある。過重債務に苦しむ国々にローンではない形の資金支援が重要

2. 国内の気候・エネルギー政策の抜本見直し

- a. 日本の温室効果ガス排出量の9割近くはエネルギー起源CO₂=エネルギー政策が重要
- b. COP28におけるグローバル・ストックテイク(GST)の成果(化石燃料からの脱却や再エネ3倍 & 省エネ2倍)を国内政策に反映させる
- c. 日本政府として、「公正な移行」の戦略づくりが急務

3. 国別貢献(NDC)の温室効果ガス削減目標

- a. 「2019年比で2035年までに60%削減」ではパリ協定1.5°C未満には不十分
 - i. Climate Action Tracker: 1.5°C目標のためには、日本は「2019年比で2035年までに少なくとも81%削減が必要」
- b. 国会で排出削減目標や達成のための対策強化について活発な議論が必要

4. 気候危機対策への市民参加

- a. 化石燃料の既得権益を持つアクターがほぼ占有する気候・エネルギー政策決定プロセスの見直し
- b. パブリックコメントの制限ではなく反映を; パブリックコメント以外にも、実効的な市民参加を確保するための取り組み強化を

「日本は脱炭素・脱原発社会を実現できるー 2035年までにCO2排出量を80%削減が可能ー」

地球環境市民会議 (CASA)、2025年5月

- CASA対策ケースでは、火力発電の廃止、省エネと再エネの既存技術の積み上げにより、原発やいわゆる革新的技術に頼ることなく、エネルギー起源CO₂を、2030年までに64%削減、2035年に80%削減、2040年に95%削減、2050年に98%削減できる。
- 2022年に35兆円であった化石燃料輸入額は2035年に7兆円、2040年に1兆円に減少。雇用創出効果は2035年に519万人。

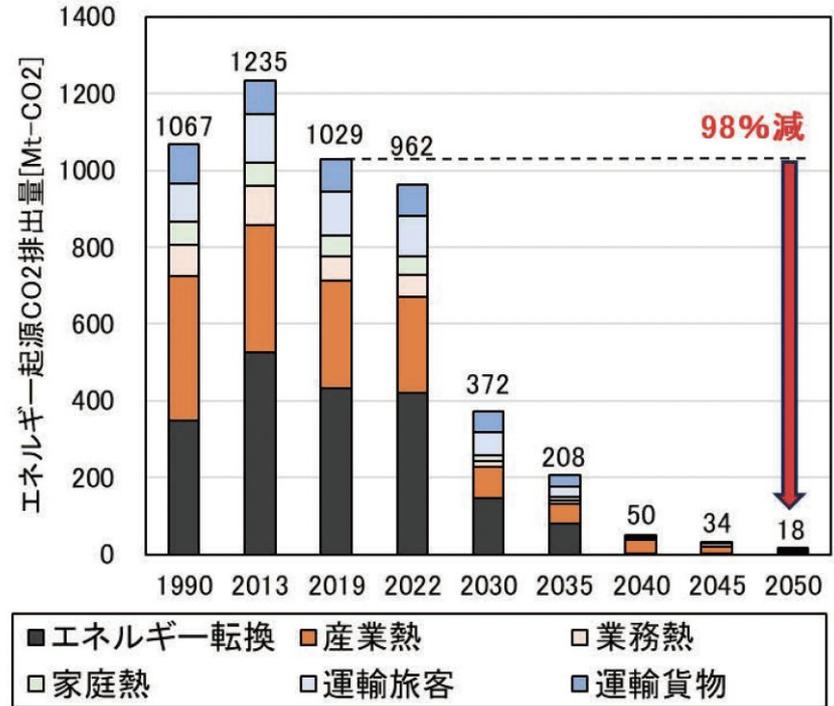


図 A CO₂ 排出量 (エネルギー起源) (直接排出) の推移

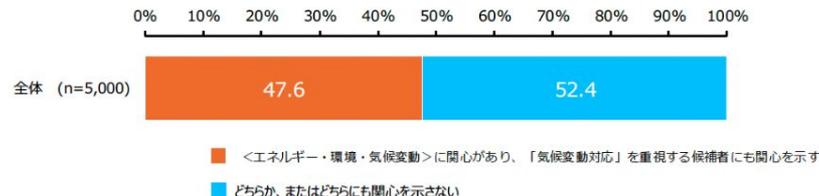
日本政府がなすべきことに
取り組むために

選挙と気候変動に関する世論調査

- 次の選挙で候補者を支持する際、**<エネルギー・環境・気候変動>**に「**関心を持つ**」と回答した人は**71.2%**
- 「**エネルギー・環境・気候変動**」に関心があり、かつ**気候変動対応を強調する候補者に関心を持つ「気候政策関心層」**は全体で**47.6%**

Q11 あなたは、次の選挙で「気候変動への対応」を強調する候補者に対して、もしその内容があなたの考えと近ければ、どのような態度を示すと思いますか？

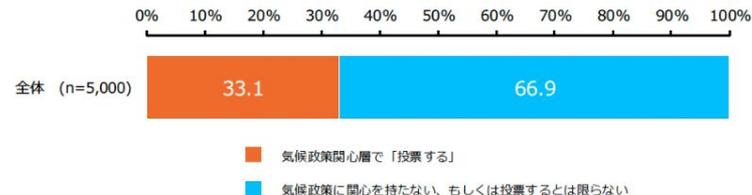
<エネルギー・環境・気候変動>に「関心を持つ」「どちらともいえない・関心を持たない」と回答した場合のそれぞれの回答傾向



- 「**気候政策関心層**」のうち、**関心を示す方法として「投票をする」と回答した人は全体で33.1%**、**普段の支持政党より候補者の公約を重視すると回答した人は全体で27.5%**

Q12 もしあなたが候補者に関心を持つとしたら、その関心をどのような方法で表すと思いますか？

「気候政策関心層」の回答傾向



ワタシのミライ： 参議院選挙に向けた 気候政策アンケート

https://watashinomirai.org/election_enquete_2025/



電力における再エネの導入目標をどのように考えますか。

政党	回答
自由民主党	⑥ 別回答
立憲民主党	① 2050年までのできる限り早い時期に再エネ100%を達成する ★
日本維新の会	⑤ 具体的数値目標なし
共産党	① 2050年までのできる限り早い時期に再エネ100%を達成する ★
国民民主党	⑥ 別回答
れいわ新選組	① 2050年までのできる限り早い時期に再エネ100%を達成する ★
社民党	① 2050年までのできる限り早い時期に再エネ100%を達成する ★
NHK党	⑤ 具体的数値目標なし

気候ネットワーク： 参議院選挙政党 マニフェスト比較

<https://kiconet.org/content/38043>



【各党の評価(2025年7月4日時点)】

政党名*	2030年/ 2035年の温室効果ガス削減目標	脱石炭火力発電の方向性	水素・アンモニア	再エネの導入と目標	脱原発の実現	得点
自由民主党	△	×	×	△	×	-1
公明党	-	×	×	△	×	-2
立憲民主党	◎	○	○	◎	○	19
日本維新の会	△	×	×	△	×	-1
日本共産党	◎	◎	◎	◎	◎	25
国民民主党	-	×	×	△	×	-2
れいわ新選組	◎	◎	◎	◎	◎	25
社会民主党	-	-	-	◎	◎	10
参政党	×	×	×	×	×	-5
日本保守党	-	×	-	×	-	-2
みんなで作る党	-	-	-	-	△	1

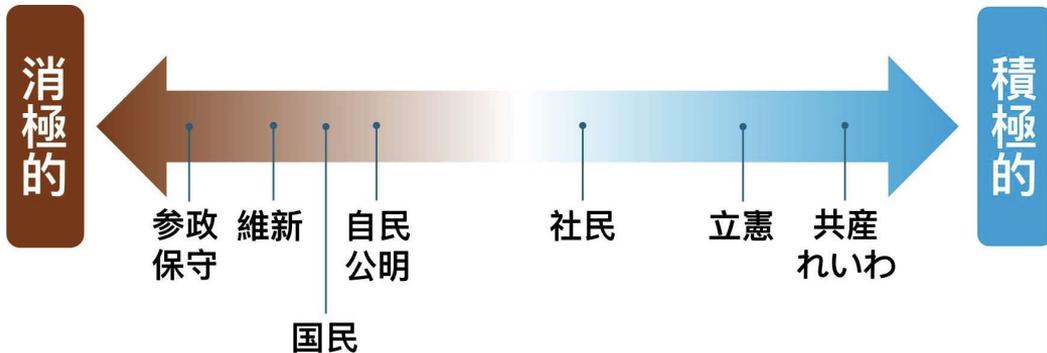
*総務省「政治団体名簿-政党」(2025年4月10日現在)に掲載のある政治団体とした。

FoE Japan: 参議院選挙政党 マニフェスト比較

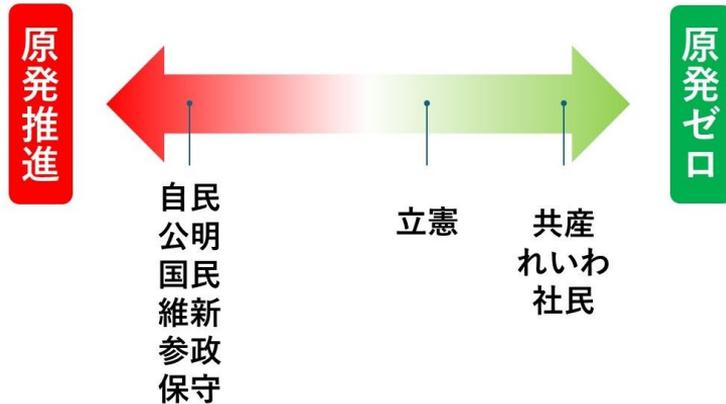
<https://foejapan.org/issue/staffblog/2025/07/11/staffblog-24778/> ほか



参院選2025 各党マニフェスト比較
気候変動対策に関する各党の特色は？



参院選2025 各党マニフェスト比較
各党の特色は？ 昨年との違いは？



グリーンピース・ジャパン： 気候の「運命の6年間」を 一緒にがんばる人を選ぶ チェックリスト×5

<https://www.greenpeace.org/japan/news/election202507/>



1. 候補者について調べる



350.org Japan:
オンライン署名キャンペーン
「選挙で気候も報道して！」
<https://350jp.org/climatemedia/>



署名

選挙で気候も
報道して！





19-21 September, 2025

DRAW THE LINE

HOST AN EVENT >

2025年9月19-21日、
世界全体で一斉に気候行動アクション&イベント

<https://350.org/draw-the-line/>